

---

## 参考文献一覧

---

### 第1章第1節

- 赤羽貞幸、2003：地形に残る地震断層の跡，善光寺地震に学ぶ（赤羽・北原編）p.177，信濃毎日新聞社，12-14.
- 栗田泰夫・奥村晃史・佃栄吉、1987：善光寺地震断層系に関する史料と地震断層の現況，歴史地震，3，166-174.
- 地震調査研究推進本部、2001：信濃川断層帯（長野盆地西縁断層帯）の評価，[http://www.jishin.go.jp/main/chousa/01nov\\_shinano/index.htm](http://www.jishin.go.jp/main/chousa/01nov_shinano/index.htm)（2005に修正あり）
- 松田時彦、1975：活断層から発生する地震の規模と周期について，地震2，28，269-283.
- 松田時彦・山崎晴雄・中田高・今泉俊文、1980：1896年陸羽地震の地震断層，地震研究所彙報，55，795-855.
- Matsu'ura, R. S., I. Karakama, 2005：A Point-process Analysis of the Matsuhiro Earthquake Swarm Sequence: The Effect of Water on Earthquake Occurrence, Pure appl. geophys., 162, 1319-1345.
- 松浦律子・中村操・茅野一郎・唐鎌郁夫、2005：江戸時代の歴史地震の震源域・震源規模の再検討作業中間報告書—42件の解析結果について—，(財)地震予知総合研究振興会，53.
- 村松郁栄，1969，震度分布と地震のマグニチュードとの関係，岐阜大教育学部研究報告，4，168-176.
- 鷲谷威，2001，神戸—新潟構造帯：日本列島を貫く歪の集中帯，サイスモ，5，5，12.
- 鷲谷威・宮崎真一・多田堯，1999，GPSで見た日本列島の变形，月刊地球，21，236-243.
- Sato, R., 1979, Theoretical Basis on Relationships between Focal Parameters and Earthquake Magnitude, J. Phys. Earth, 27, 353-372.
- 佃栄吉・栗田泰夫・奥村晃史、1990：長野断層系から発生する善光寺型地震の再来間隔と断層変位量の推定—ボーリングおよびトレンチ発掘調査報告—，地震予知連絡会会報，44，408-414.
- 宇佐美龍夫、2003：最新版日本被害地震総覧[416]-2001，東京大学出版会，137-145，591-598.
- 宇津徳治、1957：地震のマグニチュードと余震の起りかた，地震Ⅱ，10，35-54.
- 宇津徳治、1984：震度—震央距離—マグニチュードの関係その1. 東日本太平洋岸沖合を除く日本の浅発地震，地震研究所彙報，59，219-233.

### 第1章第2節、第3節、第4節

- 赤羽貞幸、1981：北部フォッサマグナ地域における後期新生代の地質構造発達史（Ⅲ），信州大学教育学部紀要，45号，273-282.
- 赤羽貞幸、1998：善光寺地震と土砂災害，震災後一五〇年善光寺地震，長野市教育委員会・松代藩文化施設管理事務所，1-7.
- 赤羽貞幸・北原糸子編著、2003：善光寺地震に学ぶ，信濃毎日新聞社，179p.
- 赤羽貞幸・原田和彦、2003：1.1 善光寺地震，ドキュメント災害史1703-2003—地震・噴火・津波、そして復興—，国立歴史民俗博物館，25-34.
- 伊藤和明、1977：地震と火山の災害史，同文書院，283p.（善光寺地震，206-233.）
- 伊藤和明、1983：善光寺地震，一山崩れと洪水の恐怖—，地理，28巻4号，45-54.
- 井上公夫、2000：4.2 善光寺地震，地震砂防，古今書院，52-59.
- 井上公夫、2004：Ⅲ2. 地震，(社)日本地すべり学会編「地すべり(Landslides)—地形地質的認識と用語—」，216-239.
- 井上公夫、2006：建設技術者のための土砂災害の地形判読 中・上級編，古今書院，142p.
- 宇佐美龍夫、1975：日本被害地震総覧，東京大学出版会，335p.
- 宇佐美龍夫、1986：善光寺地震の研究（1）—青木雪卿の山崩図絵による調査—，地震災害予測の研究，地震災害予測研究会昭和61年度報告，23-63.
- 宇佐美龍夫、1987：善光寺地震の研究（2）—1. 松代城下町の被害，2. 信州地震大絵図の調査他—，地震災害予測の研究，地震災害予測研究会昭和62年度報告，25-60.
- 宇佐美龍夫、1987，96：新編日本被害地震総覧，増補改訂版416-1995，東京大学出版会，434p.
- 内山信政、1979：弘化大地震による吉村の被害，長野郷土史研究会機関誌 長野，87号，87-89.
- 内山信政、1980：弘化大地震による吉村の被害（続），長野郷土史研究会機関誌 長野，91号，46-48.

- 大森房吉、1913：本邦地震概説 善光寺地震，震災予防調査会報告，68号，93-109。
- 大町市編纂委員会、1984：大町市史
- 岡澤由往、2006：善光寺地震二次災害尾川大洪水，市誌研究ながの，13号，57-77。
- 岡村昌恭、1978：祖室地すべりについて，地すべり，15巻1号，38-42。
- 影山純夫、1998：感応公丁未震災後封内御巡視之図，震災後一五〇年善光寺地震，長野市教育委員会・松代藩文化施設管理事務所，15-17。
- 加藤碩一・赤羽貞幸、1986：長野地域の地質，地域地質研究報告（5万分の1地質図幅），地質調査所，122p。
- 金井清敏、1994：史料紹介 弘化大地震の満水拾い物書留帳，市誌研究ながの，1号，57-89。
- 菊地万雄、1980：日本の歴史災害，一江戸後期の寺院過去帳による実証一，大明堂，453p。（弘化4年善光寺地震，202-236）
- 北安曇誌編纂委員会、2005：善光寺地震，北安曇誌，3巻 近世，北安曇教育会，550-559
- 北原糸子、1998：善光寺地震の災害情報—出版物を中心に—，震災後一五〇年善光寺地震，長野市教育委員会・松代藩文化施設管理事務所，8-14。
- 桐山重雄、1979：弘化大地震の湛水地域の避難，長野郷土史研究会機関誌 長野，87号，91-93。
- 桐山重雄、1986：岩倉山の崩壊，長野郷土史研究会機関誌 長野，127号，11-15。
- 建設省河川局砂防部、1995：地震と土砂災害，企画・編集／(財)砂防・地すべり技術センター，製作・発行／砂防広報センター，61p。
- 建設省中部地方建設局、1987：昭和61年度地震後対策調査検討業務委託報告書，財団法人砂防・地すべり技術センター，119p。
- 建設省中部地方建設局河川計画課、1987：天然ダムによる調査事例集，119p。
- 建設省土木研究所砂防部砂防研究室、1997：地震による大規模土砂移動現象と土砂災害の実体に関する研究報告書，土木研究所資料，3501号，261p。
- 小出博、1955：山崩れ，古今書院，115-135。
- 小出博、1980：日本の国土，一自然と開発一，東京大学出版会，上287p.，下556p。
- 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所、2003：松本砂防管内とその周辺の土砂災害，カラー48p。
- 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所、2007：信濃川中・上流域直轄砂防事業変遷史調査業務，報告書，日本工営株式会社
- 国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所、2001：湯沢砂防管内とその周辺の土砂災害，全44p。
- 国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、2006：千曲川危機管理情報検討業務報告書，財団法人河川情報センター
- 小林計一郎、1956：弘化4年の善光寺大地震，信濃，8巻11号，37-51。
- 小林計一郎監修、1985：弘化4年善光寺大地震図会（地震後世俗語乃種），絵・永井善左衛門，銀河書房，269p。
- 斉藤豊・赤羽貞幸、1974：長野県土地分類図（表層地質図），経済企画庁総合開発局
- 斉藤豊・赤羽貞幸・中村三郎・望月巧一・長尾勲・山浦直人、1990-93：善光寺地震により発生した地すべり・崩壊，(1)～(8)，地すべり学会研究発表講演集，29回，50-53，54-57，318-321，30回，183-186，273-276，31回，103-106，107-110，32回，427-430。
- 佐山守・河角広、1973：古記録による歴史的大地震の調査（第一報），地震研究所速報，10号2冊，1-50。（弘化4年3月24日，善光寺地震）
- 信濃教育会編、1931：むし倉日記，信濃毎日新聞，312p。
- 信濃史料刊行会、1973：むし倉日記，新編信濃史料叢書，9巻，301-408。
- 信濃毎日新聞出版局、2002：寛保2年の千曲川大洪水，「戌の満水」を歩く，協力国土交通省北陸地方整備局千曲川工事事務所，信濃毎日新聞，207p。
- 信濃毎日新聞社編集局、1998：信州の活断層を歩く，信濃毎日新聞，192p。
- 震災予防調査会、1943：増訂大日本地震資料，3巻，457-789。
- 鈴木隆介、2000 a：建設技術者のための地形図読図入門，第3巻 段丘・丘陵・山地，第11章 段丘，619。
- 鈴木隆介、2000 b：建設技術者のための地形図読図入門，第3巻 段丘・丘陵・山地，第16章 差別削剥地形，892-893。
- 鈴木隆介、2004：建設技術者のための地形図読図入門，第4巻 火山・変動地形と応用読図，第22章 地形災害の読

- 図, 1221.
- 善光寺地震災害研究グループ、1991、92：善光寺地震により発生した地すべり・崩壊、(1)～(4)、地すべり技術、17巻3号、57-60、18巻1号、58-63、2号、37-42、3号、64-72.
- 善光寺地震災害研究グループ、1994：善光寺地震と山崩れ、長野県地質ボーリング協会、130p.
- 高橋和太郎、1973：弘化4年善光寺地震の岩倉山崩れについて、長野郷土史研究会機関誌 長野、45号、13-28.
- 高橋和太郎、1986：岩倉山崩れ、長野郷土史研究会機関誌 長野、127号、6-11.
- 田畑茂清・水山高久・井上公夫、2002：天然ダムと災害、古今書院、カラー8p., 白黒180p.
- 寺澤章、1937：弘化地震岩倉山崩壊の際に於ける犀川湛水面に就いて、信濃教育、604号、34-40.
- 長井義樹・井上公夫・飯沼達夫・今村隆正、2003：善光寺地震(1847)池田組大絵図に描かれた土砂災害の紹介、歴史地震、19号、62.
- 長野郷土史研究会編、1986：善光寺大地震領地別被害、長野郷土史研究会機関誌「長野」、127号
- 長野市教育委員会・松代藩文化施設管理事務所、1998：平成10年度企画展・震災後一五〇年善光寺地震、—松代藩の被害と対応—、89p.
- 中沢清寿、1986：安曇郡池田町地方の被害例、長野郷土史研究会機関誌 長野、127号、48-49.
- 中島彰夫・白倉政道・荒井正・新保則夫・山崎博司・小山佐登志、1986：長野市涌池地区における善光寺地震地すべりの再活動について、第25回地すべり学会研究発表講演集、88-91.
- 中村浩之・土屋智・井上公夫・石川芳治編著、2000：地震砂防、砂防学会監修、古今書院、190p.
- 仁科淑子、1995：松代藩主の西山中巡覧記、松代8号、83-101
- 中村三郎・望月巧一、1991：倉並地すべりの機構と埋没谷の影響、第30回地すべり学会発表講演集、187-190.
- 中村三郎・望月巧一、1993：地すべり多発地帯の地形発達、—倉並地すべりを例とした考察—、第32回地すべり学会発表講演集、17-20.
- 仁科良夫・松島信幸・赤羽貞幸・小坂共栄、1985：長野県の活断層、—活断層分布図と資料—、信州大学理学部紀要、20巻2号、171-198.
- 原田和彦、1998：さまざまなかわら版類、震災後一五〇年善光寺地震、長野市教育委員会・松代藩文化施設管理事務所、74-77.
- 松本史、1986：土尻川流域の被害、長野郷土史研究会機関誌 長野、127号、15-20.
- 丸山岩三、1990：寛保二年の千曲川洪水に関する研究、I～IV、水理科学、192号、50-152., 193号、92-132., 194号、39-76., 195号、52-96.
- 眠月山臥雲院、1997：眠月山臥雲院 晋山・落慶記念誌、147p.
- 八木貞助、1947：弘化4年の善光寺地震に随伴し継続したる陸地変形について、帝国学士院記事、5巻、2-3号、180-186.
- 八木貞助・八木健三、1958：上水内地質誌、古今書院、480p.
- 渡辺敏全集編集委員会、1987：渡辺敏全集、長野市教育会、867p.

## 第2章第1節

- 朝日新聞、2003：『日本遺産』、No.24
- 小林計一郎、2000：『善光寺史研究』、信濃毎日新聞社
- 永井幸一、1985：『地震後世俗語の種』、信濃毎日新聞社
- 信毎開発局出版部、1977：『弘化四年善光寺地震』、信濃毎日新聞社
- 長野市誌編さん委員会、1997、2001、2004：『長野市誌』、3巻、4巻、13巻
- 東大地震研究所編、1988：『新収日本地震史料』、5巻
- 長野県史刊行会、1982、1976：『長野県史』、7巻、8巻
- 古川貞雄：「善光寺地震の余震記録」、『市誌研究ながの』、1号
- 鬼頭康之：「善光寺西町の善光寺地震」、『信濃』、659号

## 第2章第2節

- 内山信政：「弘化大地震による吉村の災害」、『長野』、213号
- 赤羽貞孝・北原糸子、2003：『善光寺地震に学ぶ』、信濃毎日新聞社

豊野町誌編さん委員会、2000：『豊野町誌』，2巻  
長野県史刊行会、1976：『長野県史』，8巻  
中村周郎、1988：『柏原町区誌』  
牟礼村誌・学校誌編纂委員会、1997：『牟礼村誌』，上  
信濃誌編纂委員会、1968：『信濃町誌』  
河原綱徳、1973：「むしくら日記」，『信濃史料叢書』，9巻

## 第2章第5節

千曲市稲荷山 松林正明家文書  
千曲市稲荷山 松林源之助文書  
千曲市森 中条聖命家文書  
清河八郎：『西遊草』，岩波文庫  
更科埴科地方誌刊行会、1980：『更科埴科地方誌』第3巻、近世編上  
更科埴科地方誌刊行会、1981：『更科埴科地方誌』第3巻、近世編下  
長野県、1982：『長野県史』，近世史料編，第7巻  
東京大学地震研究所、1988：『新収日本地震史料』，第5巻別巻6－1，6－2

## 第3章第1節～第8節

北原糸子、2003・5：近世災害情報論，塙書房  
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター、2000・7：摺物総合編年目録（第二稿）  
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター、1999・3：風説留中画像史料一覧（稿）  
今田洋三、1978・11：江戸の災害情報、江戸町人の研究5巻，吉川弘文館  
小林源吾、1980・10：弘化大地震と更埴市の村々，ちょうま創刊号，更埴郷土を知る会  
降幡浩樹、2001・3：善光寺地震の絵図型瓦版について，歴史地震第16号，歴史地震研究会  
小県郡役所編著、1923・3：小県郡史余編，小県時報局  
杉 仁、2005・8：蚕書にみる近世社会，歴史評論 No.664  
ジェラルド・グローマー、1995・10：幕末のはやり唄一口説節と都々逸の新研究，名著出版  
棚沢龍吉、1976・9：叙事民謡善光寺大地震，銀河書房  
宮田登・高田衛監修、1995・9：鯨絵，里文出版  
大町町史編纂委員会、1985・9：大町町史第2巻 原始・古代・中世

## 第3章コラム

小林計一郎・横田一郎、1992：「長野市南堀長命寺の富くじ」，『長野』，163号  
長野郷土史研究会、1993：「古文書クイズ（長命寺の富くじ）」，『長野』，172号  
豊田市郷土博物館、1994：『特別展－夢 富くじ、宝くじ』  
むれ歴史ふれあい館、2002：『牟礼の善光寺大地震（企画展パンフレット）』  
三水村役場、1980：『三水村誌』  
牟礼村、1997：『長野県牟礼村誌』  
長野市南堀区、1997：『南堀区誌』  
朝倉治彦・柏川修一編、1992：『守貞謄稿』